

安平町議会議長

牧田 弘満



新年を迎えるにあたり、町民の皆様にご挨拶を申し上げます。

昨年は、震度6強という未曾有の大地震に見舞われました。

年頭にあたり、改めて、被災されました町民の皆様に対し、心からお見舞い申し上げます。また、発災からこれまで、道内外から多くの支援物資や義援金をいただき、また、ボランティアによる切れ目のない手厚い支援など、多くの皆様から温かいお力添えをいただいておりますことに深く感謝申し上げます。

発災から4か月が経ちますが、多くの町民は大切な財産を失い、今も仮設住宅やトレーラーハウスなど不自由な生活の中で、正月を迎えられていることとお察しいたします。

す。

我々12名の議員は、町民の皆様の声に真摯に耳を傾け、町民の皆様生活を最優先に考え、発災直後は避難所の運営支援や被災された方々から情報収集を行い、10月の定例会では、被災者の支援や町民生活の再生に向けた対策について、調査・検討を行うことを目的に復興特別委員会を立ち上げ、改めて町民目線にたった行政への意見・提案など議会の運営に努めて参りました。今後も引き続き、町民の皆様立場に立って、町民の皆様の声を反映して参ります。

さて、震災後の安平町の人口は、8千人を切り7千人台となつてしまいました。合併後の最優先課題として取り組んできた移住定住施策は、地震の影響により非常に厳しくなるものと予想されます。

人口減少を抑えるためには、先ずは人口が流出しないよう、人口減少が緩やかとなるよう、町民の皆様が安心して生活できるよう、そして末永く安平町で暮らしていただくような取り組みが喫緊の課題であると考えています。

今年は、復旧・復興に向けた計画づくりが予定されていると伺っております。復興元年の年となり、町民の皆様が1日も早く今までの生活を取り戻すことができるよう国や北海道への要望など行政と一体となり、安平町の復興に取り組んで参る所存です。

町議会としましては、1日も早い安平町の復旧・復興のため、皆様のご意見を拝聴し、町民の皆様のお役に立てるよう、全力を傾注して参る所存であります。今後とも、町議会に対し一層のご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びになりますが、本年が町民の皆様にとりまして、復旧・復興のスタートの年となり、1日も早く日常の生活を取り戻されることを心よりご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。



安平町

町 長 及川秀一郎
副町長 村井克彦

安平町議会

議長 牧田弘満
副議長 田村興文
議員

小笠原直治
吉岡政昭
鳥越真由美
工藤秀一
三浦恵美子
梅森敬仁
米川恵美子
多田政拓
工藤隆男

安平町農業委員会

会長 山田之博
職務代理 大井信弘
委員 中道幸夫
大塚 武
谷口龍治
梶原和亀男
横澤和子
阿部修一
長澤健次
嶋 敏樹
南 美彦
梅田鋭敏
高田弘幸
辻 信芳

安平町教育委員会

教育長 種田直章
委員 古卿誠幸
平沖道治
山下美樹
佐々木望

喪中により新年のご挨拶を控えさせていただきます。

議会議員 箱崎 英輔
農業委員 水橋 勉